

2025 年度  
Tutorial English  
履修ガイド (A~D)

<クォーター科目>

グローバル・エデュケーション・センター

## Tutorial English 履修者のみなさんへ

## ・ Waseda メールをチェックしてください

LANGX Speaking (英語能力判定テスト) の受験やクラス発表、補講などに関する重要なお知らせを、Waseda メールアドレス (~@xxx.waseda.jp) 宛てにお送りします。履修者専用サイト『Tutorial Canvas』のお知らせと併せて必ずチェックしてください。

LANGX Speaking の受験については、下記 URL よりご確認ください。

<https://led.w-as.jp/te/langx/index.html>



LANGX Speaking 受験

## ・ パソコンの推奨環境を確認してください

レッスン期間を通じて、Tutorial Canvas や LANGX Speaking 受験サイトを利用します。利用するパソコンが以下の推奨環境を満たしていることを確認してください。

### 注意事項

- ・利用サイトにより推奨環境が異なります。
- ・推奨環境範囲内であっても、ご自身のパソコンの設定によっては音声途切れるなど、正常なサービスを提供できないことがあります。受験前に今一度設定の確認をしてください。
- ・パソコントラブルを含む個別の事由による課題の再提出やテスト受験期間の延長・再受験は、原則として行いません。受験期間になったら早めに受験を開始し、ご不明点等については早めに問い合わせてください。

### 【推奨環境】(2025年2月時点)

パソコン	ブラウザ	Tutorial Canvas	LANGX Speaking 受験サイト
Windows	Microsoft Edge	左記のブラウザの 最新バージョンを ご利用ください。	×
	Google Chrome		○ (最新バージョン利用)
	Firefox/Opera		×
Macintosh	Safari		×
	Google Chrome		○ (最新バージョン利用)

※MyWaseda メンテナンス中、上記は使用できません。(LANGX Speaking を除く)

メンテナンス日時は MyWaseda をご参照ください。

## Tutorial English 履修者のみなさんへ



チュートリ先輩  
チュートリアル科目公式キャラクター

## ・ 開講日程や締切日を確認してください

Tutorial English は、他科目とは異なる手続きや英語能力判定テストがあります。レッスンの開始日も異なりますので、以下の開講日程や裏表紙のレッスンカレンダーをよく確認してください。

行事 / クォーター	春クォーター	夏クォーター	秋クォーター	冬クォーター
LANGX Speaking (事前測定) 受験期間	P.32 参照 ※必修科目として履修する場合は、P.33 も併せて参照のこと。			
実験実習料納入期間 【1次で登録した場合】	4/8-4/14		9/26-10/2	
実験実習料納入期間 【2次・3次で登録した場合】	-	4/24-4/28	-	10/15-10/20
履修クラス・教室 発表日	4/16 夕刻	6/2 夕刻	10/1 夕刻	11/17 夕刻
Tutorial Canvas オープン				
レッスン期間	4/21-5/31	6/9-7/12	10/6-11/15	11/24-2026/1/21
LANGX Speaking (成果測定) 受験期間	5/29-6/4(15:00) ※春クォーターのみ 履修している場合	7/10-7/16 (15:00)	11/13- 11/19(15:00) ※秋クォーターのみ 履修している場合	1/19-1/26 (15:00)
授業アンケート回答期間	5/29-6/12	7/10-7/24	11/13-11/27	1/19-2/2
Lesson 評価 問い合わせ期間	6/4	7/16	11/19	1/25
特別配慮の書類 提出期限				

★LANGX Speaking 受験については、受験終了時刻が設定されております。必ず P.32・P.33 を確認してください。

## ・ 単位取得に伴う注意点

① Preparation(Unit 1～Unit10 の各レッスン前に課される予習課題)

Tutorial English は、週2回のレッスン時間外にも成績評価対象項目【Preparation】があります。出席するだけでは、評価ポイント数が足りず、単位を取得できません。  
日々の積み重ねを大切に、履修しましょう。

② Test Unit (Unit 5 と Unit10 の Test Unit を両方欠席すると単位を取得することができません)

※ 成績評価方法については、P.22 をよく確認してください。

## 目 次

1. Tutorial English とは	
1.1 全体の流れ .....	4
1.2 レベルと授業の到達目標 .....	5
1.3 Tutorial Canvas 利用ガイド .....	6
2. 科目登録からレッスン開始まで	
Step 1 科目登録.....	9
Step 2 LANGX Speaking(事前測定)受験.....	11
Step 3 実験実習料納入 .....	11
Step 4 履修クラスの確認.....	12
Step 5 テキスト購入.....	13
3. レッスン期間中	
Step 1 Preparation(予習).....	15
Step 2 Lesson(レッスン).....	17
Step 3 レッスン評価確認.....	18
4. レッスン期間後	
Step 1 LANGX Speaking(成果測定)受験.....	20
Step 2 授業アンケート回答.....	20
Step 3 Final Review Sheet 確認.....	20
5. LANGX Speaking 受験について .....	21
6. 成績評価	
6.1 成績評価方法(クォーター科目).....	22
6.2 出席・欠席の扱い.....	23
6.3 レッスンの中止および補講 .....	23
6.4 出欠席・成績評価上の特別配慮について .....	24
レッスン評価ガイドライン .....	25
7. 不正行為等の取扱いについて.....	27
8. キャンパスマップ.....	30
9. 授業に関する相談・お問い合わせ .....	31
LANGX Speaking 受験期間一覧(事前測定・成果測定).....	32
LANGX Speaking 受験が不要/できないケース .....	33
レッスンに関するよくある質問と回答(Q&A) .....	33
Tutorial English Lesson Calendar 2025 裏表紙	

# 1. Tutorial English とは

Tutorial English は、2002 年に開始した早稲田大学オリジナルの語学科目です。

2021 年 4 月に大幅にカリキュラム改定がされました。スピーキング力強化に焦点を当てた科目で、英語コミュニケーション能力の向上に実績があります。本科目の特長は以下のとおりです。

## ● 4 人 1 組の少人数制レッスン(週 2 回)

チューター(講師)1 名につき履修者最大 4 名のクラスで、週 2 回(土曜集中授業は 2 時限連続)授業を行います。スピーキング中心のプログラムで、短期間で英語のコミュニケーション能力が向上します。

## ● きめ細かなレベル別クラス編成

レッスン期間前に受験する LANGX Speaking (双方向なやり取りの能力を中心とした英語スピーキング能力を測るテスト)の結果を用い、細かなグループ分けを行うため、ご自身の英語力に適したクラスで履修することができます。Basic～Advanced の 4 レベルが設置されており、ご自身にあったレベルから連続して履修することで確実にステップアップすることができます。

## ● 独自に開発したテキストの使用

本科目のために開発された専用のテキスト『Talk』を使用します。各ユニットに設定された学習目標(Can-do)を中心に、実際のコミュニケーションに役立つ表現力と語彙力を鍛えます。

## ● 履修者専用サイト『Tutorial Canvas』を利用

Preparation の解答提出やチューターからの評価・コメントの確認は、Tutorial Canvas (My Waseda からアクセス)を通じて行います。

- ・本科目は担当教員のアドバイスのもと、チューターがレッスンを担当します。
- ・本科目は早稲田大学グローバル・エデュケーション・センターが(株)早稲田大学アカデミックソリューションに運営を委託しています。

## 1.1 全体の流れ



## 1.2 レベルと授業の到達目標

履修者の英語力に合わせて履修できるよう4レベルが設置されています。

**全学オープン科目(選択)履修者:ご自身で履修するレベルを選択します。**レベルの判断がつかない方は、科目登録期間中に行われる「科目登録相談会」でレベルチェックを受けることができます。

**必修履修者:LANGX Speaking スコアにより履修するレベルが決定します。(LANGX Speaking 未受験の場合、ご自身の英語力に合うグループで履修できない可能性があります。)**

レベル	レベル目安		授業の到達目標	特にお勧めの対象者
	TOEFL iBT (スピーキング)	TOEIC S&W (スピーキング)		
Advanced	25 以上	180 以上	見聞きした内容のほとんどを容易に理解し、論理的に整理しながら、些細な言葉のニュアンスの違いを使い分け、非常に流暢かつ正確に伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉のニュアンスの違いや含意を把握し、英語でより自然に話せるようになりたい方</li> </ul>
Upper Intermediate	20-24	160-179	広範で複雑な話題についても内容を正しく理解し、目的に合った適切な言葉を使用し、流暢かつ論理的に自分の考えを述べるができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で自然に話せるようになりたい方</li> <li>一般的なトピックについては自然なコミュニケーションを取ることができるが、複雑な話題になると、論理的に話すことが難しいと感じる方</li> <li>留学後も英語力を維持したい方</li> <li>グローバルに活躍できる英語力を身につけたい方</li> </ul>
Intermediate	16-19	120-159	抽象的な事柄や複雑な話題にも対応できるような表現力を身につけ、自身の意見を述べる際に、長所と短所を交えて説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな話題にも対応できる英語力を身につけたい方</li> <li>ディスカッションの基礎を学びたい方</li> <li>長期留学を予定している方</li> <li>グローバルに活躍できる英語力を身につけたい方</li> </ul>
Basic	15 以下	119 以下	日常生活での身近な事柄について、自身の意見とその理由を簡単に説明し、短いやりとりができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎から英語を学びたい方</li> <li>簡単な受け答えは出来るが、英語での会話が続かない方</li> <li>短期留学や海外旅行の前に英語に慣れておきたい方</li> </ul>

## 1.3 Tutorial Canvas 利用ガイド

※Tutorial Canvas は各クォーターの履修クラス発表後(P.12)にオープンします。

### ◆アクセス方法

- ①MyWaseda (図 1) にログイン後、「授業」タブをクリックし、「授業関連」の中にある「Tutorial Canvas」(図 2) を選択
- ②Tutorial Canvas の「Dashboard」(図 3) から現在履修している科目を選択

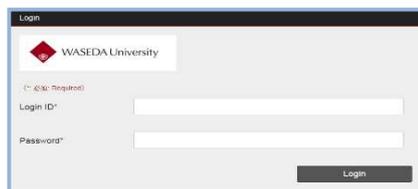


図 1 MyWaseda ログイン画面



図 2 MyWaseda 「授業」画面



図 3 Tutorial Canvas Top 画面

主な機能		機能概要
Account	個人情報の確認	個人情報を確認できます。
Dashboard	ダッシュボード	現在履修している Tutorial English のコース画面が表示されます。ここに表示されているコースの中に入ると Preparation の提出や各 Unit の成績、チューターからのコメントを確認できます。
Courses	コース	履修している Tutorial English のコースが確認できます。(過年度のコース確認は不可)
Calendar	カレンダー	Preparation の締切日を確認できます。
Inbox ※使用しません	—	Tutorial English では、本機能は使用しません。
Inquiry ※使用しません	—	<b>※Inbox、Inquiry からのお問い合わせには一切回答できかねますのでご了承ください。</b>
To Do	お知らせ	Tutorial English に関する重要なお知らせや Preparation の期日が表示されます。 ※既読済みのお知らせを再度確認する方法は、P.7 を参照 (パソコンのみ可)。

## ◆Courses 画面

TUTORIAL CANVAS  
Advanced A > Modules

① Home  
② Announcements  
③ Grades  
④ レッスンに関するお知らせ  
⑤ Preparation Unit 1  
Unit 1 テキストPDF

View Course Stream  
View Course Calendar  
View Course Notifications

To Do  
Nothing for now

Unit 10 (Test Unit)

Preparation Unit10  
May 29 | 12 pts

⑥ LANGX Speaking(成果測定)について【Tutorial English(春クォーターのみ履修している方)】  
⑦ Final Review Sheetの発行・確認方法について  
⑧ アンケート回答

## ◆『Tutorial Canvas』全般機能概要

①Home	コースのトップページへ戻ります。
②Announcements	To Do で既読済みの Tutorial English に関する重要なお知らせを確認できます。 パソコンでのみ表示されます。
③Grades	各レッスンの評価やチューターからのコメント、Final Review Sheet が確認できます。 …各 Unit の評価を確認できます。 …チューターからのコメントを確認できます。 なお、「Final Review Sheet」横にある をクリックすることで、Final Review Sheet が確認可能です。
④レッスンに関するお知らせ	履修ガイドなど Tutorial English に関する情報を確認できます。
⑤Preparation	Preparation の解答提出ができます。
⑥LANGX Speaking 成果測定について	受験期間になると、LANGX Speaking 受験ページへアクセスできるリンクを確認できるようになります。
⑦Final Review Sheet の発行・確認方法について	Final Review Sheet の発行・確認方法について確認ができます。
⑧アンケート回答	回答期間になると、アンケートが回答できるようになります。

## 2. 科目登録からレッスン開始まで

Tutorial English は、全学部生・大学院生を対象とした全学オープン科目です。科目登録からレッスン開始までに、他科目とは異なるスケジュールで実施され、また、独自の予習(Preparation)やテスト受験があります。流れをよく確認し、履修してください。また、科目登録に係る諸手続きについては『全学オープン科目履修ガイド』(GEC)、単位の取り扱いについては所属学部発行の学部要項・科目登録の手引きで確認してください。

なお、「登録決定」となった科目の**変更(レベルや曜日時限、キャンパス含む)・取消は認められません。**

※開講時期や詳細なスケジュールについては、以下の表および裏表紙のレッスンカレンダーを参照してください

科目名	春クォーター (A) 【5週間】	夏クォーター (B) 【5週間】	秋クォーター (C) 【5週間】	冬クォーター (D) 【5週間】
Tutorial English (各レベル)A (10 レッスン)	○		○※1	
Tutorial English (各レベル)B (10 レッスン)		○		○※1
Tutorial English (各レベル)C (10 レッスン)			○	
Tutorial English (各レベル)D (10 レッスン)				○

※1:Advanced は C,D が無いため、秋クォーター(A)、冬クォーター(B)となります。

### レベルの選択と組み合わせ例

以下のポイントを参考に科目登録をしてください。

#### ●Point

- ・同一レベルの A～D では、同じ難易度の授業内容を扱います。
- ・Basic、Intermediate、Upper Intermediate の 3 レベルについては、A・B・C・D の 4 クォーターで 1 レベルが完結するため、1 つのレベルを A から D を連続して学ぶことをおすすめしています。なお、Advanced は 2 クォーターで 1 レベルが完結します。

#### ★要注意

- ・同じクォーターに複数のレベルを並行して履修することはできません。
- ・複数のレベルを履修したい場合は、別のクォーターのクラスを登録してください。
- ・以前に履修したレベルと同一レベル、または高いレベルで以前履修していない ABCD を履修してください。  
例えば、Advanced を履修した後に Basic を登録しないでください。

登録可否	組み合わせ例
○	春クォーター「TE(Basic) A」+ 夏クォーター「TE(Basic) B」
○	春クォーター「TE(Basic) A」+ 冬クォーター「TE(Basic) D」
○	春クォーター「TE(Basic) A」+ 夏クォーター「TE(Intermediate) B」
○	夏クォーター「TE(Basic) B」+ 秋クォーター「TE(Basic) C」
×	春クォーター「TE(Basic) A」+ 春クォーター「TE(Intermediate) A」 →同一クォーターに複数レベルを登録することはできません。
×	春クォーター「TE(Advanced) A」+ 秋クォーター「TE(Advanced) A」



## Step 1. 科目登録

### <全学オープン科目(選択)履修者>

ご自身でキャンパス、レベル、曜日時限を選び、所属学部・研究科(大学院生開放科目(GEC 提供科目))の日程・方法に従って科目登録を行ってください。学習効果の面からA・BまたはC・Dを2クォーター連続して履修することを推奨しますが、A～Dのいずれか1つを履修することも可能です。A・BもしくはC・Dを連続して履修する場合は、A・BもしくはC・Dを1次登録期間で登録してください。履修パターンは以下よりお選びいただけます。

#### (a) 週2回レッスン

週前半(月・火・水)、週後半(木・金・土)に各1レッスンを受講します。5週間で合計10レッスンです。  
 ※週前半と週後半の組み合わせは、次ページを参照してください。  
 ※開講曜日・時限はキャンパス毎に異なります。  
 ※週前半・週後半ともに同一キャンパスで受講します。

#### (b) 土曜集中レッスン

土曜日(1～2限または3～4限)に2時限連続で受講します。5週間で合計10レッスンです。  
 ※早稲田キャンパスでのみ開講されます。

#### ポイント! (選択履修者)

必修履修者と異なり、履修するレベルはご自身が登録したレベルです。どのレベルを履修したらよいか分からない方は、科目登録期間中に行われる「履修相談・レベルチェック」でレベルチェックを受け、自分の英語力に適したレベルを選択してください(所要時間約10分)。科目登録相談会の詳細はMy Waseda お知らせに掲載されます。

### <必修履修者>

必修履修者は、所属学部により曜日時限が自動登録されます。履修レベルはLANGX Speakingのスコアにより決定し、履修クラス発表日(P.12)に発表されます。

※履修クラス発表日以前は、科目登録画面には「Tutorial English (Compulsory)」と表示されます。  
 ※履修クラス発表日の前後で、曜日時限に変更が生じることはないため、同曜日時限に別科目を科目登録することはできません。また、曜日時限やレベルの変更はできかねます。

週2回レッスンを受講します。

週前半(月・火・水)、週後半(木・金・土)に各1レッスンを受講します。5週間で合計10レッスンです。  
 ※開講曜日時限はキャンパスにより異なります。  
 ※必修科目として4クォーター履修する場合は、1年を通じて同じレベルを履修します。  
 (但し、Beginners, Advancedは除きます)。

必修履修者/対象学部 (1年生)	履修クォーター
政治経済学部	春・夏クォーター
法学部 (外国語B英語選択者)	秋・冬クォーター
教育学部英語英文学科	秋・冬クォーター
商学部	春・夏クォーター または 秋・冬クォーター
社会科学部	春・夏クォーター または 秋・冬クォーター
人間科学部	春・夏クォーター または 秋・冬クォーター
スポーツ科学部	通年(春・夏・秋・冬クォーター)
国際教養学部	通年(春・夏・秋・冬クォーター)

全学オープン科目履修ガイドもあわせて参照してください。

#### 1. 科目登録の手引き 第2章 各センター科目概要

##### I. グローバル・エデュケーション・センター科目概要・注意事項「5. 英語科目」

- GEC ホームページ <https://www.waseda.jp/inst/gec/>  
 > 科目登録ガイド  
 > 科目登録ガイド(学部生向け) または、科目登録ガイド(大学院向け)

曜日時限組み合わせ表（選択履修者用）

週 2 回の曜日時限の組み合わせは固定されています。

【例】①春クォーターに月曜 1 限と木曜 1 限の組み合わせの Upper Intermediate A を申請する場合

科目名: Tutorial English (Upper Intermediate) A A1

②冬クォーターに火曜 2 限と金曜 1 限の組み合わせの Advanced B を申請する場合

科目名: Tutorial English (Advanced) B P4

早稲田キャンパス

レベル		Basic/Intermediate/ Upper Intermediate		Advanced		
		A・B・C・D		A (春クォーター)	A (秋クォーター)	
		全クォーター共通		B (夏クォーター)	B (冬クォーター)	
曜日	時限	曜日	時限	クラス名称		
月	1	木	1	A1	A1	M1
月	1	木	2	A2	A2	M2
月	1	木	3	A3	A3	M3
月	1	木	4	A4	A4	M4
月	1	木	5	A5	A5	M5
月	2	木	1	A6	A6	M6
月	2	木	2	A7	A7	M7
月	2	木	3	A8	A8	M8
月	2	木	4	A9	A9	M9
月	2	木	5	B1	B1	N1
月	3	木	1	B2	B2	N2
月	3	木	2	B3	B3	N3
月	3	木	3	B4	B4	N4
月	3	木	4	B5	B5	N5
月	3	木	5	B6	B6	N6
月	4	木	1	B7	B7	N7
月	4	木	2	B8	B8	N8
月	4	木	3	B9	B9	N9
月	4	木	4	C1	C1	O1
月	4	木	5	C2	C2	O2
月	5	木	1	C3	C3	O3
月	5	木	2	C4	C4	O4
月	5	木	3	C5	C5	O5
月	5	木	4	C6	C6	O6
月	5	木	5	C7	C7	O7

レベル		Basic/Intermediate/ Upper Intermediate		Advanced		
		A・B・C・D		A (春クォーター)	A (秋クォーター)	
		全クォーター共通		B (夏クォーター)	B (冬クォーター)	
曜日	時限	曜日	時限	クラス名称		
火	1	金	1	C8	C8	O8
火	1	金	2	C9	C9	O9
火	1	金	3	D1	D1	P1
火	1	金	4	D2	D2	P2
火	1	金	5	D3	D3	P3
火	2	金	1	D4	D4	P4
火	2	金	2	D5	D5	P5
火	2	金	3	D6	D6	P6
火	2	金	4	D7	D7	P7
火	2	金	5	D8	D8	P8
火	3	金	1	D9	D9	P9
火	3	金	2	E1	E1	Q1
火	3	金	3	E2	E2	Q2
火	3	金	4	E3	E3	Q3
火	3	金	5	E4	E4	Q4
火	4	金	1	E5	E5	Q5
火	4	金	2	E6	E6	Q6
火	4	金	3	E7	E7	Q7
火	4	金	4	E8	E8	Q8
火	4	金	5	E9	E9	Q9
火	5	金	1	F1	F1	R1
火	5	金	2	F2	F2	R2
火	5	金	3	F3	F3	R3
火	5	金	4	F4	F4	R4
火	5	金	5	F5	F5	R5

レベル		Basic/Intermediate/ Upper Intermediate		Advanced		
		A・B・C・D		A (春クォーター)	A (秋クォーター)	
		全クォーター共通		B (夏クォーター)	B (冬クォーター)	
曜日	時限	曜日	時限	クラス名称		
水	1	土	1	F6	F6	R6
水	1	土	2	F7	F7	R7
水	1	土	3	F8	F8	R8
水	1	土	4	F9	F9	R9
水	2	土	1	G1	G1	S1
水	2	土	2	G2	G2	S2
水	2	土	3	G3	G3	S3
水	2	土	4	G4	G4	S4
水	3	土	1	G5	G5	S5
水	3	土	2	G6	G6	S6
水	3	土	3	G7	G7	S7
水	3	土	4	G8	G8	S8
水	4	土	1	G9	G9	S9
水	4	土	2	H1	H1	T1
水	4	土	3	H2	H2	T2
水	4	土	4	H3	H3	T3
水	5	土	1	H6	H6	T6
水	5	土	2	H7	H7	T7
土	1	土	2	H8	H8	T8
土	3	土	4	H9	H9	T9

西早稲田キャンパス

レベル		Basic/Intermediate/ Upper Intermediate		Advanced		
		A・B・C・D		A (春クォーター)	A (秋クォーター)	
		全クォーター共通		B (夏クォーター)	B (冬クォーター)	
曜日	時限	曜日	時限	クラス名称		
火	1	金	1	K3	-	-
火	2	金	2	K4	-	-
火	3	金	3	K5	-	-
火	4	金	4	K6	-	-
水	1	木	1	K7	-	-
水	2	木	2	K8	-	-
水	3	木	3	K9	-	-
水	4	木	4	L1	-	-

所沢キャンパス

レベル		Basic/Intermediate/ Upper Intermediate		Advanced		
		A・B・C・D		A (春クォーター)	A (秋クォーター)	
		全クォーター共通		B (夏クォーター)	B (冬クォーター)	
曜日	時限	曜日	時限	クラス名称		
月	1	木	1	I1	I1	U1
月	2	木	2	I2	I2	U2
月	3	木	3	I3	I3	U3
月	4	木	4	I4	I4	U4
月	5	木	5	I5	I5	U5
水	1	金	1	J7	J7	V7
水	2	金	2	J8	J8	V8
水	3	金	3	J9	J9	V9
水	4	金	4	K1	K1	W1
水	5	金	5	K2	K2	W2





## Step 2. LANGX Speaking(事前測定)受験 (約 20～30 分)

★成績評価対象

### <全学オープン科目(選択)履修者>

「5. LANGX Speaking 受験について」を参照してください。  
LANGX Speaking のスコアをもとにレッスングループを決定するため、必ず科目登録を行った科目登録期間に受験してください。  
(例: 1次登録期間中に登録した場合は1次登録期間中)

※LANGX Speaking の再受験はできません。

※LANGX Speaking を期間中に受験しなかった場合の取扱いについては、P.34を確認してください。

#### ポイント！(選択履修者)

登録した科目登録期間中に必ず受験する

(例: 1次登録期間中に登録した場合は、1次登録期間中にLANGX Speakingを受験する)

※LANGX Speaking は成績評価の対象です

### <必修履修者>

Waseda メールのご案内に従い、所定期間内に必ず受験してください。  
受験方法は、「5. LANGX Speaking 受験について」を参照してください。

※LANGX Speaking のスコアをもとにレベルおよびレッスングループを決定します。LANGX Speaking のスコアがない場合は、ご自身の英語力に合うグループで履修できない可能性がありますので、必ず受験してください。

<春学期 必修履修者>

入学前に LANGX Speaking を受験し、春学期に当該科目を履修する場合は、LANGX Speaking(事前測定)の受験は不要です。

<秋学期 必修履修者>

入学前に LANGX Speaking を受験し、秋学期にのみ当該科目を履修する場合、LANGX Speaking(事前測定)の受験は不要です。

※受験期間については P32～33 ページをご参照ください。

## Step 3. 実験実習料納入

### <全学オープン科目(選択)履修者>

全学オープン科目(選択)履修者は、実験実習料の納入が必要です。

科目登録結果発表後、Waseda メールアドレス宛てに納入案内メールが届きます。納入方法を選択後、必ず所定の納入期間内に納入してください。未納の場合は、履修が認められません。納入方法の詳細については、グローバル・エデュケーション・センター発行『全学オープン科目履修ガイド』を確認してください。

### <必修履修者>

対象: 法学部選択必修履修者

※上記学部以外の方で、学部必修で登録されている場合は実験実習料の納入は不要です。

※法学部選択必修履修者は、春学期に実験実習料の納入が必要です。

科目登録結果発表後、Waseda メールアドレス宛てに納入案内メールが届きます。納入方法を選択後、必ず所定の納入期間内に納入してください。未納の場合は、履修が認められません。

納入方法の詳細については、法学部の履修ガイドおよびグローバル・エデュケーション・センター発行『全学オープン科目履修ガイド』を確認してください。

Step 4. 履修クラス(レベル、教室・ブース等)の確認

※選択・必修共通



Tutorial Canvas 上で、LANGX Speaking のスコア結果により決定したレベル(必修学部のみ)、教室および担当チューターを発表します。必修履修者は、同日に初めて履修するレベルを確認することができます。(同日以前は、科目登録画面では「Tutorial English (Compulsory)」と表示されます。)

※Tutorial Canvas へのアクセス方法は P.6 を参照

【レベル】

Tutorial Canvas の Dashboard に表示されたカードのレベルが履修するレベルになります。

【教室・ブース】

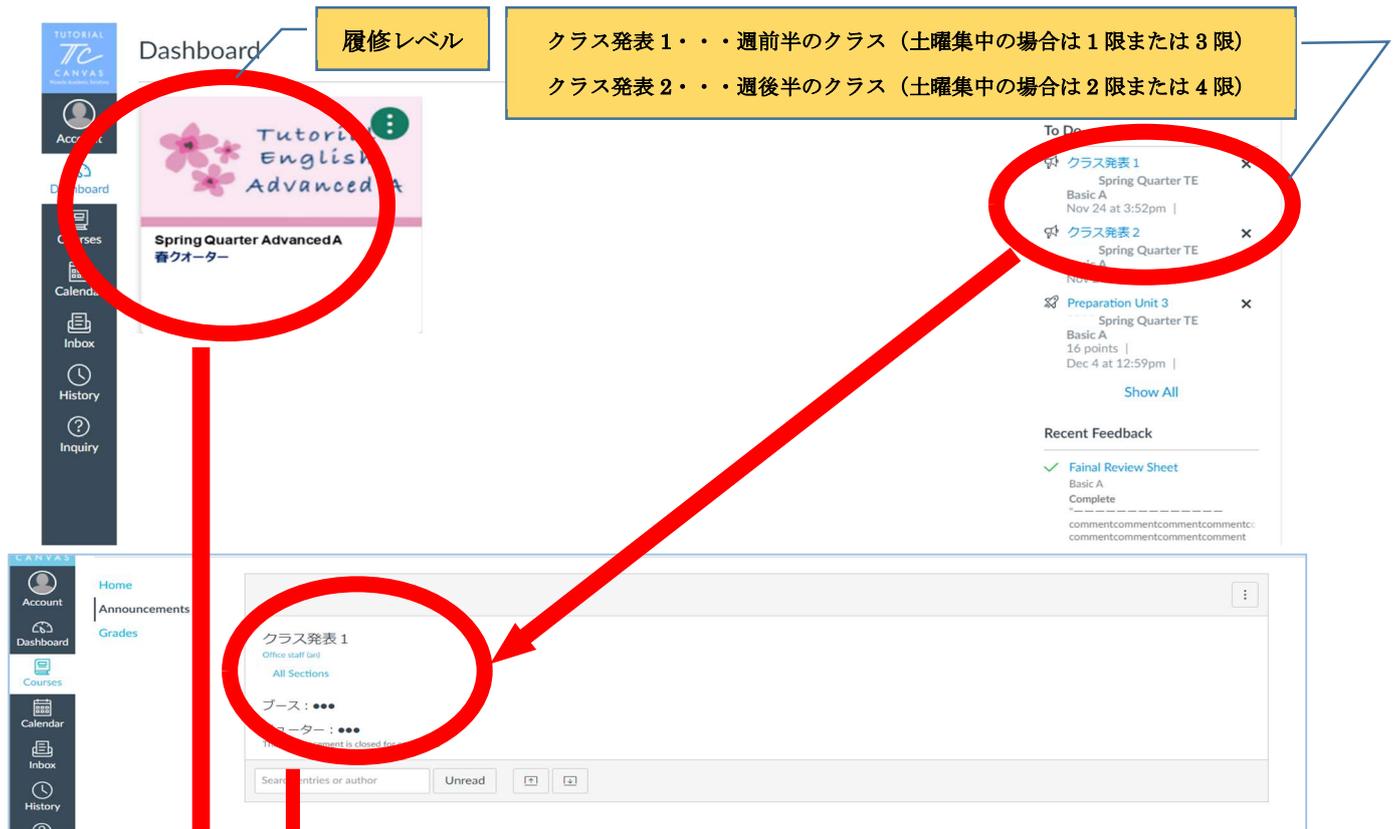
画面右上にある「To Do」の下にある「クラス発表 1」「クラス発表 2」のお知らせをクリックして確認してください。  
週前半と週後半で教室・ブース番号が異なる場合もあるため、必ず両方のお知らせを確認してください。

※一度お知らせを参照すると既読となり「To Do」に表示されなくなります。再度確認する際は「Announcements」をクリックし、確認してください。「Announcement」は、パソコン以外のデバイスでは表示されません。パソコンで確認をしてください。

※パソコン以外のデバイスで「To Do」のお知らせを閲覧した場合、「Announcement」に再表示されません。初回確認時に必ず控えをとるようにしてください。なお、パソコン利用の場合は「Announcements」からの再確認が可能です。

発表日は、次のとおりです。

学期	クラス発表日	学期	クラス発表日
春クォーター	2025年4月16日(水)夕刻	夏クォーター	2025年6月2日(月) 夕刻
秋クォーター	2025年10月1日(水) 夕刻	冬クォーター	2025年11月17日(月) 夕刻



＜注意！＞

レッスンが始まるまでに必ず自分の履修する①レベル・曜日時限、②教室、③ブース番号をメモしてください。

① レベル: \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ 曜日 限 ② \_\_\_\_\_ 教室 ③ブース番号:  
 \_\_\_\_\_ 曜日 限 ② \_\_\_\_\_ 教室 ③ブース番号:

## Step 5. テキスト購入

※選択・必修共通

レッスン開始までに、履修するレベルのテキストを必ず購入してください。

※必修履修者は、「履修クラス発表」(P.12)までレベルが確定しませんので、履修クラス決定後に購入してください。  
必修履修者は、LANGX Speaking のスコア結果により、Beginners レベルを履修することがあります。

※2022 年に『Talk』の Second Edition が刊行されています。First Edition を誤購入しないようご注意ください。

## ■使用テキスト一覧

## A (春クォーター)

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Beginners) A	Talk Beginner A (Second Edition)	定価 1,320 円 (本体 1,200 円 + 税 10%)
Tutorial English (Basic) A	Talk Basic A (Second Edition)	
Tutorial English (Intermediate) A	Talk Intermediate A (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) A	Talk Upper Intermediate A (Second Edition)	
Tutorial English (Advanced) A	Talk Advanced A (Second Edition)	

## B (夏クォーター)

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Beginners) B	Talk Beginner B (Second Edition)	定価 1,320 円 (本体 1,200 円 + 税 10%)
Tutorial English (Basic) B	Talk Basic B (Second Edition)	
Tutorial English (Intermediate) B	Talk Intermediate B (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) B	Talk Upper Intermediate B (Second Edition)	
Tutorial English (Advanced) B	Talk Advanced B (Second Edition)	

## C (秋クォーター) ※Beginners と Advanced は「A (春クォーター)」と同じテキスト、授業内容です。

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Beginners) A	Talk Beginner A (Second Edition)	定価 1,320 円 (本体 1,200 円 + 税 10%)
Tutorial English (Basic) C	Talk Basic C (Second Edition)	
Tutorial English (Intermediate) C	Talk Intermediate C (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) C	Talk Upper Intermediate C (Second Edition)	
Tutorial English (Advanced) A	Talk Advanced A (Second Edition)	

## D (冬クォーター) ※Beginners と Advanced は「B (夏クォーター)」と同じテキスト、授業内容です。

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Beginners) B	Talk Beginner B (Second Edition)	定価 1,320 円 (本体 1,200 円 + 税 10%)
Tutorial English (Basic) D	Talk Basic D (Second Edition)	
Tutorial English (Intermediate) D	Talk Intermediate D (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) D	Talk Upper Intermediate D (Second Edition)	
Tutorial English (Advanced) B	Talk Advanced B (Second Edition)	

## ■テキスト取扱い店舗:

早稲田大学生協各店舗 <http://www.wcoop.ne.jp/>

コーププラザ ブックセンター店(17号館 B1階)、戸山店(31号館 1階)

理工書籍店(57号館 B1階)、所沢購買書籍店(100号館 4階)

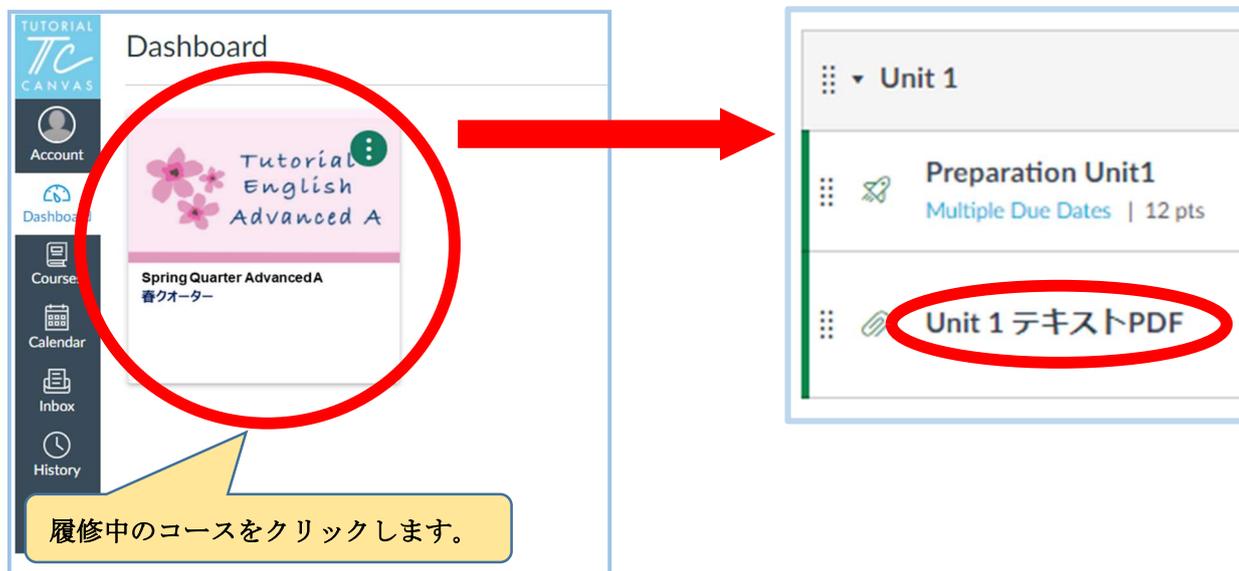
(Tutorial English のテキストには早稲田大学生協会員割引は適用されません。)

## 【Unit 1 のテキストに関して】

各クォーターの Unit1 のテキストは Tutorial Canvas 上に掲載します。注文したテキストが届いていない場合は以下の方法でテキストのデータへアクセスしてください。なお、Unit2以降は掲載されませんのでテキストは早めに購入してください。

## &lt;Unit1 のテキストへのアクセス方法&gt;

Tutorial Canvas にログイン後、履修中のコースにアクセスをして、「Unit 1」内にある「Unit 1 テキスト PDF」をクリック、テキストをダウンロードしてください。



### 3. レッスン期間中

各レッスンには会話表現に関する目標 (Can-do) が設定されています。

チューターの指導のもと、ペアワークやグループワークを通じて英会話の練習をします。レッスンでは語彙の習得だけでなく、会話の始め方や弾ませ方、ディスカッションの進め方など、実践の場ですぐに活かせるスキルも身につけることができます。

また、予習 (Preparation)、テスト受験 (LANGX Speaking) など、レッスン時間外にも成績評価対象となる課題があります。右図の各ユニットの流れ (Step 1～5) をよく理解し履修しましょう。



#### Step 1. Preparation(予習)

★成績評価対象



成績評価の対象となりますので (P.22)、レッスン開始までに必ず Tutorial Canvas で Preparation に取り組んでください。

Preparation の解答期間は、各レッスンの 7 日前からレッスン開始時までです。

**例) 4月21日(月)1限のPreparationの解答期限は、4月21日(月)08:49**

※なお、クォーター初回 (Unit 1) では、解答期間が7日間より短くなる場合がありますので、ご注意ください。

#### 【注意事項】

- ・リスニング問題の会話はテキストに掲載されており、テキストを見ながら聴くことを推奨いたします。
- ・Preparation は各 Unit につき 2 回まで解答することができ、2 回のうちスコアの高いほうが成績評価に使用されます。なお、2 回目を解くときは、正解した問題も含めて全問解きなす必要があります。2 回目の解答は必須ではありません。
- ・正解は 2 回解答した後に表示されます。
- ・自由記述式の問題は成績評価の対象外となりますが、レッスン内でのパフォーマンス向上や学習効果を高めるためにも、必ず解答してください。
- ・レッスンを欠席する場合でも、解答期間内であれば Preparation を提出することが可能です。
- ・テキストに目を通し、わからない単語や表現などを調べておくと、レッスンでの学習効果をより高めることができます。

※設問と選択肢が日本語で出てくる場合：ブラウザの言語設定を日本語から英語に変更してください。

※パソコントラブルを含む個別の事由による再提出などは認められません。



#### ◆Preparation の解答方法

- ① Dashboard にある履修中のコースをクリックし、解答する Unit の「Preparation Unit ●」をクリックします。

② 「Take the Quiz」をクリックします。

The screenshot shows the Canvas LMS interface for 'Preparation Unit 1'. The top navigation bar includes 'Home', 'Announcements', and 'Grades'. Below this, the quiz details are displayed: 'Due Feb 28 at 12:59pm', 'Points 14', 'Questions 5', 'Available Feb 10, 2020 at 12pm - Feb 28 at 12:59pm about 1 year', and 'Time Limit None'. A yellow button labeled 'Take the Quiz' is prominently displayed and circled in red.

③ 「再生ボタン」をクリックし、音声を再生して、下にある問題に解答します。

The screenshot shows the 'Quiz Instructions' page for 'Preparation Unit 1'. A video player is embedded in the question area, and a callout box with a yellow background and black text says '選択肢を選んで解答します。' (Select an option and answer). The question is a multiple-choice question: 'Why was the discussion limited to just Australia and Singapore?'. The options are:
 

- They are the cheapest countries to travel to.
- They are close to the speakers' country.
- It was decided in a previous discussion.
- They both have a lot of nature.

 The radio buttons are circled in red. The 'Submit Quiz' button is visible at the bottom right of the question area.

④ 最後まで解答したら右下にある「Submit Quiz」をクリックします。

The screenshot shows the 'Quiz Instructions' page for 'Preparation Unit 1' at the end of the quiz. The question is 'Which statement is an elaboration on what someone else has said?'. The options are:
 

- If I could just elaborate on the point I was making earlier that we need to think about the budget.
- Just to add to the point I made about the budget, we need to set aside some funds for our group trip at the end of the year.
- I just want to pick up on what you said about the budget because I think it's important. I mean, you're right - maybe we can cut costs in certain areas.
- Can you clarify the point about the budget? I don't understand what you're getting at.

 The 'Submit Quiz' button is circled in red at the bottom right of the page.

⑤ スコアが表示されます。もう1度受験する場合は「Take the Quiz Again」をクリックします。

⑥ 2回目の解答方法は③～④と同じです。

⑦ 2回解答すると、両方のスコアが表示されますが、高い方のスコアが成績評価に使用されます。

## Step 2. Lesson (レッスン)

★成績評価対象



レッスンでは積極的に話しましょう。

レッスンはテキストを用いながら全て英語で行います。各ユニットには会話表現に関する目標 (Can-do) が設定されています。チューターの指導のもと、ペアワークやグループワークを通じて英会話の練習をします。レッスンでは語彙の習得だけでなく、会話の始め方や弾ませ方、ディスカッションの進め方など、実践の場ですぐに活かせるスキルも身につけることができます。

なお、全10回のレッスンのうち、**Unit 5 および Unit 10 は Test Unit** です。

Test Unit とは、これまでのレッスンで学んだ内容をアウトプットし、スピーキング能力を評価する場です。Unit 1～4 の内容を Unit 5 で、Unit 6～9 の内容を Unit 10 で評価します。各ユニットで学んだ Can-do を融合させたテストを行うため、これまでの学習内容を復習する機会になります。具体的な成績評価については22ページを参照してください。



**Unit 5 と Unit 10 の Test Unit を両方欠席すると、単位を取得できません。**

**注意してください！**





## Step 3. レッスン評価確認

各レッスン終了後(レッスンの翌々日までに)、Tutorial Canvas の「Grades」にチューターから「レッスン評価」とグループ全体への「コメント」が掲載されます。必ず確認してください。

レッスン評価を確認する場合は、 グループ全体へのコメントを確認する場合は をクリックしてください。

### ◆Tutorial Canvas

履修中のコースを選んだあと、Grades をクリック後に表示される「Lesson 評価 Unit ●」の横にある アイコンをクリック

グループ全体への「コメント」

レッスン評価

\*Attendance のポイント (4pts~0pts)は、成績評価ポイントに含まれません。

Criteria	4 pts On time	3 pts 15 min	2 pts 30 min	1 pts 45 min	0 pts Absence	0 pts Over 45 min (Absence)	0 pts Special consideration	
Attendance threshold: 0								4 / 4 pts
BS Interaction (Turn-taking) threshold: 0	6 pts <6> The student started conversations	3 pts <3> The student sometimes started conversations	0 pts <0> The student did not try to start conversations					6 / 6 pts
BS Interaction (Active Listening) threshold: 0	6 pts <6> The student remained active when listening to others	3 pts <3> The student was sometimes active when listening to others	0 pts <0> The student was mostly passive when listening to others					3 / 6 pts
BS Interaction (Working with others) threshold: 0	6 pts <6> The student asked others what they thought	3 pts <3> The student sometimes asked others what they thought	0 pts <0> The student did not ask others what they thought					6 / 6 pts

### ■レッスン評価の問い合わせ期限

レッスン評価について質問がある場合は、以下期限内にお問い合わせください。

よくある質問・問い合わせ先: <https://led.w-as.jp/faq.html>



学期	期限	学期	期限
春クォーター	2025年6月4日(水)	夏クォーター	2025年7月16日(水)
秋クォーター	2025年11月19日(水)	冬クォーター	2026年1月25日(日)

### 【注意事項】

- 期限を過ぎた質問等は受付できません。
- Tutorial Canvas の Inquiry からご質問いただくことはできません。質問等がある場合は、上記問い合わせ先よりご質問ください。
- レッスンの評価の問い合わせ期限は上記の通り設定されていますが、ご自身のレッスン評価は必ずユニット終了毎に行ってください。また、質問がある場合には、期限を待たずにお早めにお問い合わせください。

■Test Unit 英語力指標

Tutorial English のテキスト『Talk』は CEFR(セファール) (※)に準じて作成されています。

Unit 5、Unit 10 の Test Unit では、評価とは別に、Range、Accuracy、Fluency、Phonology について、「CEFR」に合わせた現在の英語力の指標が表示されます。

Category	6 pts A1	5 pts A2	4 pts B1	3 pts B2	2 pts C1	1 pts C2	0 pts N/A	Score
Range					2	1	0	2 / 6 pts
Accuracy					2	1	0	2 / 6 pts
Fluency					1	1	0	1 / 6 pts
Phonology					1	1	0	1 / 6 pts

CEFR の指標にあるポイントは、評価対象ポイントではありません

【CEFR 英語力指標】

※ CEFRとは Common European Framework of Reference for Languages の略で、「ヨーロッパ言語共通参照枠」と訳されます。多言語が行き交うヨーロッパにて、どの言語で、どのくらいの語学力があるかを共通して測る物差しとされています。学習を始めたばかりの初学者(A1)から母語話者と遜色のない熟練者(C2)までのスケールがあります。判定基準は以下の表をご参照ください。

	Range	Accuracy	Fluency	Phonology
C2	- Shows great flexibility reformulating ideas in differing linguistic forms to convey finer shades of meaning precisely, to give emphasis, to differentiate and to eliminate ambiguity. Also has a good command of idiomatic expressions and colloquialisms.	- Maintains consistent grammatical control of complex language, even while attention is otherwise engaged (e.g. in forward planning, in monitoring others' reactions).	- Can express him/herself spontaneously at length with a natural colloquial flow, avoiding or backtracking around any difficulty so smoothly that the interlocutor is hardly aware of it.	- Can employ the full range of phonological features in the target language with a high level of control – including prosodic features such as word and sentence stress, rhythm and intonation – so that the finer points of his/her message are clear and precise. Intelligibility is not affected in any way by features of accent that may be retained from other language(s).
C1	- Has a good command of a broad range of language allowing him/her to select a formulation to express him/ herself clearly on a wide range of general, academic, professional or leisure topics without having to restrict what he/she wants to say.	- Consistently maintains a high degree of grammatical accuracy; errors are rare and difficult to spot.	- Can express him/herself fluently and spontaneously, almost effortlessly. - Only a conceptually difficult subject can hinder a natural, smooth flow of language. - Demonstrates fully controlled use of connecting phrases and organizational patterns to form smooth-flowing speech.	- Can articulate virtually all the sounds of the target language; some features of accent retained from other language(s) may be noticeable, but they do not affect intelligibility. - Can vary intonation and place sentence stress correctly in order to express finer shades of meaning.
B2	- Has a sufficient range of language to be able to give clear descriptions, express viewpoints and develop arguments without much noticeable searching for words, using some complex sentence forms to do so.	- Shows a relatively high degree of grammatical control. Does not make errors which cause misunderstanding, and can correct most of his/her mistakes.	- Can produce stretches of language at a fairly even tempo. - There are not many noticeably long pauses. - Can link phrases into coherent speech using a limited number of cohesive devices/connecting phrases, though there may be some 'jumpiness' in a long contribution.	- Can generally use appropriate intonation, place stress correctly and articulate individual sounds clearly. - Accent can be influenced by other language(s) he/she speaks, but has little or no effect on intelligibility.
B1	- Has enough language to get by in everyday life, with sufficient vocabulary to express him/herself with some hesitation and circumlocutions on topics such as family, hobbies and interests, work, travel, and current events, but vocabulary limitations cause repetition and even difficulty with formulation at times.	- Uses reasonably accurately a repertoire of frequently used 'routines' and patterns associated with more predictable situations.	- Can keep going comprehensibly, even though pausing for planning and repair is very evident, especially in longer stretches of free production. - Can link simple elements into a linear sequence.	- Pronunciation is generally intelligible even if a foreign accent is sometimes evident and occasional mispronunciations occur. - Can approximate intonation and stress.
A2	- Can produce brief everyday expressions in order to satisfy simple needs of a concrete type (e.g. personal details, daily routines, wants and needs, requests for information.) - Can use basic sentence patterns and communicate with memorized phrases and groups of a few words about themselves and other people, what they do, places, possessions etc.	- Uses some simple structures correctly, but still systematically makes basic mistakes (e.g. tends to mix up tenses or forgets to mark agreement). - It is still usually clear what he/she is trying to say.	- Can make him/herself understood in short stretches, even though pauses, false starts and reformulation are very evident. - Can construct phrases on familiar topics with sufficient ease to handle short exchanges, despite very noticeable hesitation and false starts. - Can link phrases with simple connectors like "and," "but" and "because."	- Pronunciation is generally clear enough to be understood, but native speakers might need to ask for repetition from time to time. - A strong influence from other language(s) he/she speaks on stress, rhythm and intonation may affect intelligibility, but pronunciation of familiar words is clear.
A1	- Has a very basic range of simple expressions about personal details and needs of a concrete type. - Can use some basic structures in single-clause sentences with some omission or reduction of elements.	- Shows only limited control of a few simple grammatical structures and sentence patterns in a memorized repertoire.	- Can manage very short, isolated, mainly pre-packaged phrases, with significant pausing to search for expressions, to articulate less familiar words, and to repair communication. - Can link words with very basic connectors like "and" or "then."	- Pronunciation of a very limited repertoire of learnt words and phrases can be understood with some effort by interlocutors used to dealing with speakers of the language group concerned. - Can reproduce correctly a limited range of sounds as well as the stress on simple, familiar words and phrases.

## 4. レッスン期間後



### Step 1. LANGX Speaking(成果測定) 受験 (約 20~30 分)

★成績評価対象

◆Tutorial Canvas: Dashboard からコースに入った後、Unit 10 終了後の対応事項の「LANGX Speaking 成果測定について」をクリック

レッスン期間終了後に LANGX Speaking を再度受験し、事前測定と比較してどれだけ英語力が伸びたかを測ります。受験方法は「5. LANGX Speaking 受験について」(P.21)を参照してください。

受験期間は「LANGX Speaking 受験期間一覧」(P.32)を参照し、必ず所定期間内に受験してください。

ただし、A・BもしくはC・Dを2クォーター連続で履修する方はAまたはCの成果測定は不要です。BもしくはDの成果測定がAまたはCの成果測定として成績に反映されます。詳細はP.22を参照してください。



### Step 2. 授業アンケート回答

◆Tutorial Canvas: Dashboard からコースに入った後、Unit 10 終了後の対応事項の「アンケート回答」をクリック

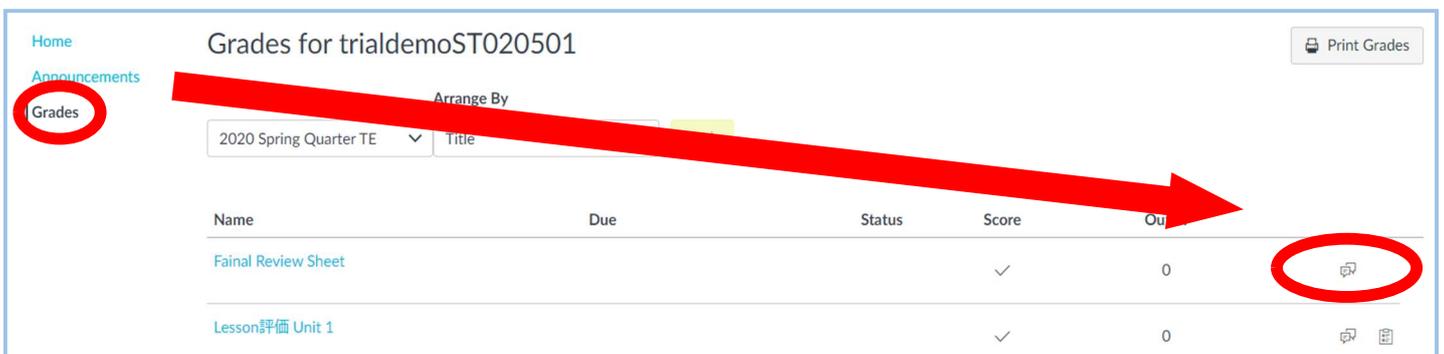
学生による授業評価アンケートを実施します。成績には一切影響はありません。

今後の授業運営の参考としますので、回答への協力をお願いします。



### Step 3. Final Review Sheet 確認

◆Tutorial Canvas: Dashboard からコースに入った後、左側にある「Grades」をクリックし、「Final Review Sheet」横の  をクリック



Grades for trialdemoST020501

Print Grades

Home

Announcements

Grades

Arrange By

2020 Spring Quarter TE

Title

Name	Due	Status	Score	Out
Final Review Sheet		✓	0	0
Lesson評価 Unit 1		✓	0	0

レッスン期間終了後、Tutorial Canvas にチューターから所定の条件(\*1)を満たした履修者へ以下の日程(\*2)までにフィードバックが掲載されます。レッスンを通じて達成できたことや課題点、学習アドバイスなど、今後の英語コミュニケーション能力の向上に役立ててください。

(*1)条件			
Unit 1~Unit 10 までのレッスンのうち、2名のチューターのレッスンにそれぞれ過半数出席			
(*2)掲載予定日			
春クォーター	2025年6月9日(月)	夏クォーター	2025年7月21日(月)
秋クォーター	2025年11月24日(月)	冬クォーター	2026年2月2日(月)



## 5. LANGX Speaking 受験について

LANGX Speaking は、双方向的なやりとりの中で即興的に会話を続ける能力を測るためのテストです。音声対話システム技術を活用して、会話 AI エージェントが受験者と自然な会話を行います。会話 AI エージェントは個人の習熟度に合わせて話題を調整することで、受験者の能力を最大限引き出し、スピーキング能力を効果的に測定することが可能です。



図: 会話 AI エージェントとのテストの様子。

### 1 自然な会話

受験者は会話 AI エージェントとインタビューやロールプレイを行います。

実際の人同士のコミュニケーションと同様に、自然な会話を通してスピーキング能力を判定します。

### 2 適応型テスト

インタビューとロールプレイの問題は、会話中に測定される受験者の習熟度に基づき、個人のレベルに合ったものが提示されます。試験時間は受験者の返答によって変動しますが、平均は約 20-30 分です。

### 3 正確な自動判定

最新の AI による自動採点により、**総合評価**に加えて**6つの観点別評価**(語彙の豊富さ・文法の正確さ・発音・流暢さ・一貫性・やりとりの力)についてスコアを短時間で算出します。なお、確信度の低いサンプルは、人間の専門家による再判定を行う場合があります。

### 4 オンライン受験

指定された受験期間内であれば、自分の好きな時に受験をすることが可能です。

■ 受験期間: P.32 参照

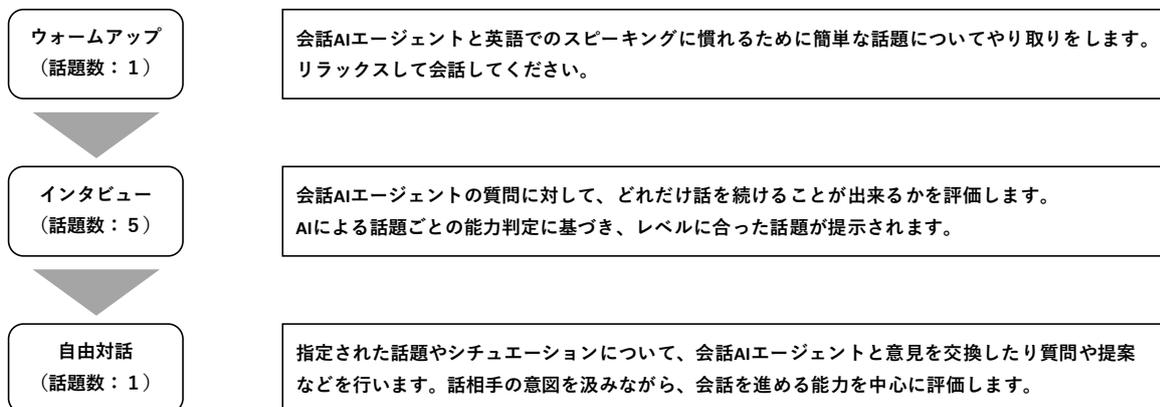
■ 受験の進め方: 受験方法や試験の流れについては下記 URL よりご確認ください。

<https://led.w-as.jp/te/langx/index.html>



■ テスト内容:

LANGX Speaking 受験



■ テスト結果: テスト終了後にサイト上にスコアが表示されます。

■ 受験に必要な環境:

- 1 **静かな環境**(移動中やカフェ等、雑音の多い場所は避けてください。)
- 2 **パソコン**(タブレットは非奨励。スマートフォンは非対応です。)
- 3 **カメラと、マイクおよびスピーカー**(マイク付きヘッドホンの利用を推奨。)
- 4 **最新の Google Chrome ブラウザ**(ブラウザが最新であることを必ず確認してください。)
- 5 **安定したインターネット環境**(上り下り 2.5Mbps 以上を推奨しています。)

■ お問い合わせ: P.31 参照

受験に関するご質問は、受験期間内にお問い合わせください。回答は翌営業日以降になる場合があります。受験期間の最終日当日に質問を行う場合、回答が受験期間内に間に合わない可能性がありますので、注意してください。

## 6. 成績評価

### 6.1 成績評価方法(クォーター科目)

レッスンは、評価ガイドライン(P.25, 26 参照)に即し、出席回数、及び以下の評価対象項目のポイント数の合計をもとに評価されます。各ユニットに学習目標があるため、レッスンに出席し、積極的にレッスンに参加することが成績評価の必須条件となります。そのため、出席回数が成績評価に影響します。なお、Tutorial English における課題に取り組むにあたり、P.27～29 の行為は不適切な行為とみなします。不正行為が発覚した場合、成績評価を不合格評価とし、所属学部・研究科に報告します。

評価対象項目	対象ユニット	ポイント数 (合計 394 ポイント)	説明
1. Preparation	Unit 1～10	0～12 ポイント/1Unit (合計 120 ポイント)	レッスン後、Tutorial Canvas から各レッスン前までに解答して提出する予習課題「Preparation」の解答内容を正解数に応じて0～12ポイントで評価します。
2. Interaction	Unit 5, 10 以外の8Unit	0～18 ポイント/1Unit (6 ポイント×3 項目× 8Unit=合計 144 ポイント)	Turn-taking、Active Listening、Working with others の3項目において、どれだけレッスン内の発話、コミュニケーションに貢献したかで評価します。各レベルの評価基準は P.25,26 に記載されています。  Turn-taking・・・会話をスタートさせ、会話中どれだけ積極的に参加することができるか。また、話すチャンスがあった時や話題を向けられたとき、話すことができたかを評価します。 Active Listening・・・他の学生が話している時に、うなずいたり、反応したりして、相手の発話を促すような聞き方をしているかを評価します。 Working with others・・・グループで協力して、会話を続けることができるか。例えば、follow-up question を聞いてより詳しい情報を聞き出したり、他の学生のアイデアを発展させて会話を続けたりすることができるかを評価します。
3. Test Unit	Unit 5, 10	0～60 ポイント/1Unit  Advanced 以外のレベル (15 ポイント×4Can-do× 2Unit=合計 120 ポイント)  Advanced (30 ポイント×2Can-do× 2Unit=合計 120 ポイント)	Unit 5 では Unit 1～Unit 4、Unit 10 では Unit 6～Unit 9 に設定された Can-do の達成度を、テキストの Speaking を使用したアクティビティーを通じて、それぞれ 0～15 ポイント(最大 60 ポイント)で評価します。 ※Advanced の場合は各 Test Unit で評価される Can-do が 2 つずつのため、それぞれ 0～30 ポイント(最大 60 ポイント)で評価します。なお、Test Unit を 2 回欠席した場合は、合計で 7 回以上出席しているも単位付与対象外となりますので、注意してください。
4. LANGX Speaking	事前測定 成果測定	0～10 ポイント (最大 10 ポイント)	レッスン期間前(事前測定)とレッスン期間終了前後(成果測定)の合計 2 回の受験状況を以下の条件により評価します。(最大 10 ポイント) (1) 事前測定および成果測定の両方を受験した場合・・・5 ポイント (2) 事前測定および成果測定の両方を受験し、かつ成果測定のレベル判定が履修レベル以上であった場合(※)・・・5 ポイント A・B(または C・D)を連続履修する場合は、B(または D)の成果測定を受験することで、A(または C)の成果測定を兼ねます。(A・B(または C・D)の両方にポイントが加算されます) ※例:履修レベルがIntermediateのとき、成果測定のレベルが Intermediate・Upper Intermediate・Advanced の場合は 5 ポイント加算される。レベル判定が Basic のとき、加算されない。

#### ■成績の修得条件

成績	A+	A	B	C
修得条件 (満点 394 ポイント)	9 回以上のレッスンに出席し、かつ評価対象項目合計で 355 ポイント以上を取得	8 回以上のレッスンに出席し、かつ評価対象項目合計で 316 ポイント以上を取得	8 回以上のレッスンに出席し、かつ評価対象項目合計で 276 ポイント以上を取得	7 回以上のレッスンに出席し、かつ評価対象項目合計で 237 ポイント以上を取得

※出席回数が 6 回以下の場合、及び評価対象項目の合計取得ポイントが「236 ポイント以下」の場合は、自動的に F(不合格)となります。

※Test Unit (Unit5、Unit10)を両方欠席すると、単位を取得することはできません。

## 6.2 出席・欠席の扱い

Tutorial English は、目標 (Can-do) の達成度を評価する科目であるため、出席を重視します。原則として、いかなる理由で欠席した場合も全て「欠席」として扱い、代替レッスンは行いません。遅延証明書等は受け付けません。

以下が「出席」、「欠席」の条件および注意事項です。

### ■出席

- ・45 分を超えて授業時間内にコミュニケーションが取れていれば出席となります。
- ・45 分以内の「遅刻/早退」に対する減点はありません。ただし、「遅刻/早退」した場合は Interaction または Can-do の評価を一部受けることができず獲得できる評価ポイントが少なくなる可能性があります。

### ■欠席

- ・体調不良等に関わらず、授業時間内で 45 分を超えてコミュニケーションがとれなかった場合は、欠席とみなします。
- ・45 分を超える遅刻/早退は欠席扱いとなりますが、Preparation と Interaction、Can-do の評価を受けることは可能です。
- ・授業を欠席する場合でも、授業開始前であれば Preparation を解答することができます。
- ・欠席する際の事前連絡は不要です。

### ■その他

- ・欠席回数が 4 回となった時点で単位取得はできません (出欠席は Tutorial Canvas で確認することができます)。
- ・Test Unit を 2 回欠席した場合、欠席回数が 4 回未満でも単位取得はできません。

## 6.3 レッスンの中止および補講

原則として、レッスンの休講はありません。ただし、大学全体が休講になり、レッスンが中止になった場合は、大学が定める方針に従ってください。補講(代替レッスン)等を行う場合には、MyWaseda より詳細をお知らせします。

## 6.4 出欠席・成績評価上の特別配慮について

自然災害や伝染病等のため、大学全体が休講となった場合には、出欠席・成績評価上の特別配慮を行います。また、以下の理由で欠席した場合も、期日までに必要書類を以下の申請先に提出した場合に限り、出欠席・成績評価上の特別配慮を行います(それ以外の理由での出欠席・成績評価上の特別配慮は、一切行いません)。

特別配慮を行った場合でも、Preparation ならびに LANGX Speaking については、履修者が提出したもの・受験した結果を評価の対象とします。できる限り提出・受験をしてください。

事由	必要書類	申請方法
忌引き (2親等以内)	「忌引きによる授業欠席等に関する取扱いのお願い」 <b>(所属学部・研究科の押印がついたもの)</b>	所属学部・研究科より左記書類を入手し、下記申請先に提出
学校感染症	学校感染症に関する「授業欠席(配慮)届け」 <b>(所属学部・研究科の押印がついたもの)</b>	①医師が発行した「学校感染症治癒証明書」を所属学部・研究科に提出 ②所属学部・研究科より学校感染症に関する「授業欠席(配慮)届け」を入手し、下記申請先に提出
教育実習 介護等体験	「授業欠席特別願」 (「実施証明書」)	各科目の Waseda Moodle に記載された方法に従って申請
裁判員制度	「裁判員制度に関わる欠席届」 <b>(所属学部・研究科の押印がついたもの)</b>	所属学部・研究科より左記書類を入手し、 下記申請先に提出

出欠席・成績評価上の特別配慮のレッスン回数の上限は3回です。この上限を超えた特別配慮の申請は、通常の欠席として扱われます。

なお、通常の欠席回数が4回となった時点で単位取得はできません。

※ 入院については、出席数が単位取得条件に満たない場合に配慮の対象となります。下記申請先に「医師の診断書」を提出してください。  
なお、入院による特別配慮を申請する場合に提出する「医師の診断書」には、学部事務所の押印は不要です。医師の診断書発行には日数を要する場合がありますのでスケジュールに余裕をもって準備してください。

※ 部活動による欠席配慮はできません。

※ Tutorial English の授業と、他科目の期末試験の日程が重複した場合には、原則として、Tutorial English に出席してください。  
学部の未済試験を受験するための受講証明書を発行しますので、必要な場合は P.31 の問い合わせページよりお問い合わせください。

### 出欠席・成績評価上の特別配慮の考え方

	特別配慮を申請したレッスン数	特別配慮が認められるレッスン数	特別配慮が認められないレッスン数 (通常の欠席扱い)	単位修得対象/不可 (特別配慮の申請以外に欠席がない場合を想定)
学生A	7	3	4	単位修得不可
学生B	6	3	3	単位修得対象
学生C	5	3	2	単位修得対象
学生D	4	3	1	単位修得対象
学生E	3	3	0	単位修得対象

### ■申請先

QRコードまたは、下記、MyWaseda 申請フォームより申請をしてください。



申請フォーム

### MyWaseda 申請フォーム (申請フォームからのみ受付)

<https://my.waseda.jp/application/detail/application-detail?communityContentLinkId=543452409>

・GEC 事務所(1号館3階)・早稲田大学アカデミックソリューション事務所(29-2号館)では、直接受領いたしませんので、ご注意ください。

### ■書類の提出期限

学期	期限	学期	期限
春クォーター	2025年6月4日(水)	夏クォーター	2025年7月16日(水)
秋クォーター	2025年11月19日(水)	冬クォーター	2026年1月25日(日)

※各学期の期間終了間近に感染症に罹患するなどにより、欠席届や証明書の提出が提出期限に間に合わないことが予想される場合は、上記の期日までにその旨をご相談ください。

※上記の相談がなく、提出期限を過ぎた場合は、受け付けません(配慮の対象となりません)。

## LESSON ASSESSMENT GUIDELINES

### (レッスン評価ガイドライン)

#### PREPARATION

To receive points, students should complete the unit Preparation online before each lesson. The majority of Preparation activities involve some form of listening comprehension, answering unit-related questions, or listing ideas for the unit. Completion of the online Preparation will help students build familiarity with the unit content and help them prepare to discuss this content in detail.

Preparation is scored between 0-12 points on 12 multiple choice questions, each worth 1 point.

E.g. 12 points: when all answers are correct.

5 points: when 5 answers are correct.

0 points: when the Preparation has not been completed, or when all answers are incorrect.

Open-ended questions are not scored. However, answering these questions will allow students to consider the topic in advance, making the in-class conversations smoother and possibly improving students' in-class performance. Students should be prepared to share their ideas and responses to these questions in class.

#### INTERACTION

Interaction is based on the student's initiative and participation in all lesson activities. It is determined by the students' willingness to participate in all aspects of the lesson through turn-taking, active listening, and working with others. The criteria depends on the level. Each aspect of Interaction is scored as 0, 3, or 6 points.

##### Beginners

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student answered questions	The student remained active when listening to others	The student contributed their ideas to class activities.
3	The student sometimes answered questions	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes contributed their ideas to class activities.
0	The student did not try to answer questions	The student was mostly passive when listening to others	The student did not contribute their ideas to class activities.

##### Basic

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student started conversations	The student remained active when listening to others	The student asked others what they thought
3	The student sometimes started conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes asked others what they thought
0	The student did not try to start conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not ask others what they thought

##### Intermediate

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student started and maintained conversations	The student remained active when listening to others	The student asked others to explain their ideas
3	The student sometimes started and maintained conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes asked others to explain their ideas
0	The student did not try to start or maintain conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not ask others to explain their ideas

## Upper Intermediate

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student maintained and balanced conversations	The student remained active when listening to others	The student helped develop others' ideas, making comments and asking questions
3	The student sometimes maintained and balanced conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes helped develop others' ideas
0	The student did not try to maintain or balance conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not help develop others' ideas

## Advanced

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student led and balanced conversations	The student remained active when listening to others	The student developed others' ideas and linked them to their own
3	The student sometimes led and balanced conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes developed others' ideas
0	The student did not try to lead or balance conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not try to develop others' ideas

**CAN-DO for TEST UNITS**

Students will be assessed their can-do performance on Unit 5 and Unit 10. There are 4 can-do for each Test Unit, and each can-do is scored as 0, 5, 10 or 15 points. Each Test Unit consists of 4 can-do  $\times$  15 points = 60 points. Except in the Advanced level, where each Test Unit consists of 2 can-dos, 2 can-dos  $\times$  30 points = 60 points.

## Can-do criteria

Points	Criteria
15 points	The student demonstrated a high degree of competence with the Can-do by... <ul style="list-style-type: none"> <li>• using all aspects of the Can-do with a high degree of fluency and accuracy</li> </ul>
10 points	The student demonstrated competence with the Can-do by... <ul style="list-style-type: none"> <li>• using all aspects of the Can-do</li> </ul>
5 points	The student demonstrated limited competence with the Can-do by... <ul style="list-style-type: none"> <li>• struggling to demonstrate the Can-do</li> <li>• failing to demonstrate all aspects of the Can-do</li> </ul>
0 points	The student did not demonstrate any of the aspects of the Can-do

## 7. 不正行為等の取扱いについて

グローバル・エデュケーション・センター（GEC）では、センター提供科目における試験、課題等に関して不正行為等を行った学生の取扱いを以下のように定めています。不正行為等に該当すると判断された場合、成績評価に大きな影響を及ぼしますので、必ず熟読したうえで試験や課題等に取り組んでください。

### 不正行為の定義

#### 1. 試験※1における不正行為

試験において、次のいずれかに該当する行為は不正行為とする。ただし、科目担当教員が特に許可した場合を除く。

- (1) 他人の代わりとなって受験すること、または他人を自己の代わりとして受験させること。
- (2) 不正使用の目的をもって作成された文書または電子ファイルもしくはその閲覧に使用する機器を試験場に持ち込むこと。
- (3) 使用が許可されていない書籍、ノート、メモその他の印刷物または機器を使用または参照すること。
- (4) 使用が許可されている物品の貸借
- (5) 身体、衣類、所持品または机、椅子その他試験場内の備品に試験に関連した内容を書き込むこと。
- (6) 答案の交換または他人の答案の利用（覗き見を含む。）
- (7) 他人の答案を写すこと、または自己の答案を他人に写させること。
- (8) 言語、暗号、動作または機器その他の情報伝達手段によって他人と連絡を試みること、または不正に情報を取得すること。
- (9) 偽名の記入、故意による無記名、答案用紙の破棄または許可されていない答案用紙の持ち出し等により、答案整理を混乱させようとする事。
- (10) 試験終了後、答案に加筆修正などの変更を加えること。
- (11) 試験監督員の指示に従わないこと。
- (12) その他試験の公正を害すると認められる行為
- (13) 上記の行為を行ったものと疑われる行為をすること。
- (14) 上記の行為を行うことを幫助すること。

#### 2. 課題等※2における不正行為

課題等において、次のいずれかに該当する行為は、不正行為とする。ただし、科目担当教員が特に認めた場合を除く。

- (1) 他人の代わりとなって課題等に取り組むこと、または他人を自己の代わりとして課題等に取り組ませること。
- (2) 他人が取り組みもしくは取り組んだ課題等を筆写もしくは引き写し、または自己のものとして表示すること。
- (3) 自己が取り組みもしくは取り組んだ課題等を他人に筆写もしくは引き写させ、または他人のものとして表示させること。
- (4) 他人のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文、用語または知見を適切な表示なく流用すること。
- (5) 他人と共同で課題等に取り組むこと。

#### 3. オンライン試験※3における不正行為

オンライン試験において、次のいずれかに該当する行為は、不正行為とする。

- (1) 他人の代わりとなってオンライン試験を受験すること、または他人を自己の代わりとして受験させること。
- (2) 他人と共同でオンライン試験を受験すること。
- (3) 科目担当教員および試験監督員の指示に従わないこと。

## 不正行為を行った者の成績評価

当該不正行為が行われた科目の成績評価を不合格評価とし、所属学部・研究科に報告する。

### 不適切な行為

次のいずれかに該当する行為は、不適切な行為とする。

- (1) 課題等またはオンライン試験に関し、上記に定める不正行為のうち、情状に酌量すべき事情が認められるもの
- (2) その他成績評価手段※4に関し、科目担当教員の指示に反する行為
- (3) 科目担当教員による公正な成績評価を阻害するすべての行為

### 不適切な行為を行った者の成績評価

不適切な行為が行われた科目の成績評価の取扱いは、科目担当教員および GEC の判断による。なお、不適切な行為が当該科目の成績評価の公平性を著しく害する場合には、不正行為者と同等の対応を受けることがある。

※1「試験」とは、科目担当教員による監督下で実施される理解度の確認ならびにそれらと同等であると位置づけられるものをいう。ただし、当該科目において主たる成績評価手段として周知されるものに限る。

※2「課題等」とは、レポート、発表、実演、実習、専門教育科目演習論文その他一定の成果の提出または提示を求めるものをいう。

※3「オンライン試験」とは、インターネット等のネットワークを利用して任意の場所で受験することが認められるものをいう。

※4「その他成績評価手段」とは、小テスト、感想文、出席票等をはじめとする、上記に定めるもの以外の成績評価手段をいう。

## レポートにおける剽窃行為について

書籍や Web などの他人の作成した文章（Web ページに公開されている情報を含む）を自分のレポートとして提出することは許されません。一部分であったとしても、後述の出所の明示を含む引用の要件が満たされていなければ同様に許されません。上記に該当するレポートは試験におけるカンニング行為（他人の答案や持込が禁止されている資料を写すこと）と同様にみなされ、不正行為（前述参照）に該当します。不正行為が発覚した場合、該当科目やその時点で履修しているすべての科目の無効、Waseda ID の利用停止、停学など厳正な処分が所属学部・研究科から下されますので、十分に注意してレポートを提出してください。

レポートの一部に、他人の文章の一部を引用する、あるいは内容の一部を同一性が失わないように要約して引用する場合は、その出所を示し、自分の書いた文章 ではないことを明示する必要があります。また引用にはそのほかにも守る必要のあるルールがあります。これらを守らずに提出すると、剽窃にあたり、著作権法 に抵触します。

どのように引用すれば不正行為にならないか、以下に簡単なルールを示します。

### 引用が成立する要件

- 1 自己の記述と引用部分を明白に区分していること（例）引用の文章全体を「」（一重カギカッコ）でくくる
- 2 引用部分ごとに出所を明示すること（例）著者名、著書（あるいは論文や記事）のタイトル、当該ページ数（および出版社や出版年）など文献情報を明示する
- 3 引用部分の総和（合計）は文の総量に対し、従の関係にあること
- 4 引用する必然性があること

引用元、特に Web ページ上のものなどで『自由に利用してかまわない』と書かれている場合でも、「自分の文章ではないものを、自分の文章として提出する」行為そのものは剽窃に該当します。

新聞社・通信社のニュース、官庁の Web ページ、Web 上の辞典などレポート作成によく利用されますが、いずれも出所を明らかにせず引用の要件を満たさずに利用すれば、剽窃にあたりますので、注意してレポートを作成するように心がけてください。

## 8. キャンパスマップ

### <早稲田キャンパス>

受講場所：早稲田大学 29 号館   
 2階 205 室・地下 1 階 B104 室  
 〒169-0051  
 東京都新宿区西早稲田 1-2-4

早稲田大学アカデミックソリューション事務所：  
 29-2 号館 2 階

〒169-0051  
 東京都新宿区西早稲田 1-3-24

※工事により 29 号館、29-2 号館への  
 経路が変更になる可能性があります。



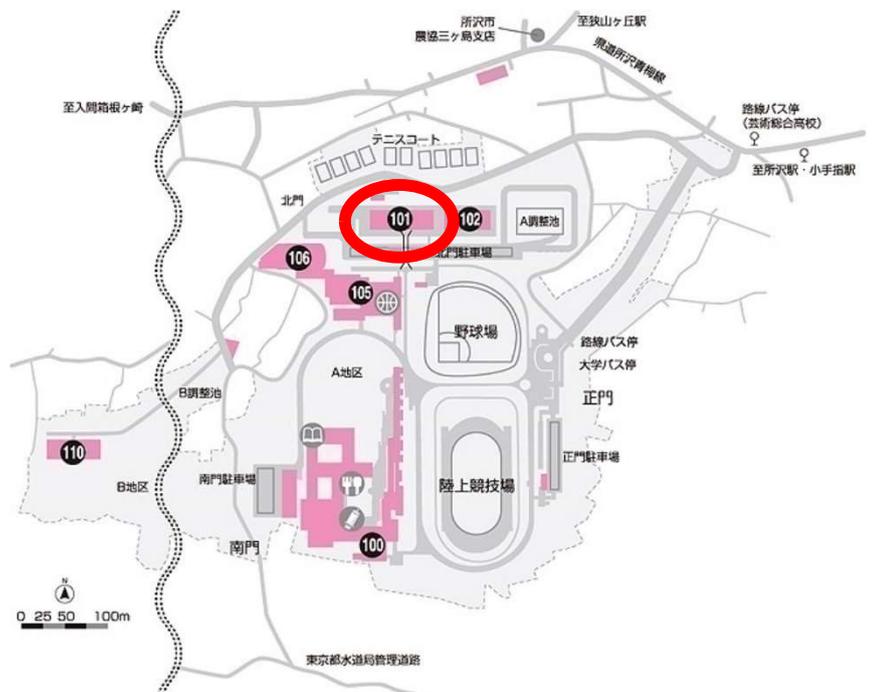
### <西早稲田キャンパス>

履修場所：60 号館 3 階 310 教室・312 教室



### <所沢キャンパス>

履修場所：101 号館 2 階 203 教室・217 教室



## 9. 授業に関する相談・お問い合わせ

授業に関する相談・質問は、以下へお問い合わせください。お問い合わせの際は、各ウェブサイトにある「よくある質問」を事前に確認してください。

### ◆科目登録・成績に関すること

問い合わせ先：早稲田大学グローバル・エデュケーション・センター

問い合わせページ：<https://www.waseda.jp/inst/gec/contact/>

※必ず科目名、学籍番号、氏名、Waseda メールアドレスを明記してください。



問い合わせページ

### ◆レッスン評価、出欠の取扱いに関すること、Tutorial Canvas 利用方法、LANGX Speaking、その他授業全般に関すること

※Tutorial Canvas の Inbox、Inquiry 機能を使用しての問合せには対応いたしかねますのでご注意ください。

問い合わせ先：早稲田大学アカデミックソリューション事務所(29-2 号館 2 階)

電話：03-5286-8030

よくある質問・問い合わせ先：<https://led.w-as.jp/faq.html>

科目詳細：<https://led.w-as.jp>



よくある質問



科目詳細

※電話による対応時間：月～金 9:00～17:30

※問い合わせフォームからの回答は、翌平日以降になる場合があります。テスト受験期間の最終日当日の質問や問い合わせについては、受験期間内に回答が間に合わない可能性がありますので注意してください。

※忌引き・学校感染症等での特別配慮に関しては P.24 に記載があります。問い合わせ前に必ずご確認ください。

※土日・祝日にシステム障害が発生した場合、障害発生日が成績評価に関わる課題提出の締切日となる履修者のみを対象に延長期間を設けます。

なお、対象者には翌平日に MyWaseda にて課題提出の延長期間を記載したお知らせを配信します。

内容をよく確認し、必ず延長期間内に課題を提出してください。

### ◆教職課程・施行規則第 66 条の 6 に定める科目(外国語コミュニケーション)について

Tutorial English は、教員免許状を取得するための要件として定められている科目(教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目(外国語コミュニケーション))の 1 つです。

詳しくは、教育学部教職課程の発行する最新の「職課程履修の手引き」および所属学部の「学部要項」等を参照してください。

※「Tutorial English」の他にも、所属学部の設置科目および一部のグローバル・エデュケーション・センターの言語科目が教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目の外国語コミュニケーションに該当します。

## LANGX Speaking 受験期間

### LANGX Speaking(事前測定)

学期	履修者タイプ		期 間	
春クォーター 夏クォーター	必修履修者	政治経済学部	※所属学部事務所からご案内	
		商学部		
		社会科学部		
		人間科学部		
		スポーツ科学部		
	国際教養学部			
必修履修者	1次登録期間中に科目登録する場合		学部(在学生): 2025年3月18日(火)～3月21日(金)17:00	
	2次登録期間中に科目登録する場合 ※夏クォーターのみ登録可		学部(新生入生)、大学院生他: 2025年4月1日(火)～4月3日(木)17:00	
	3次登録期間中に科目登録する場合 ※夏クォーターのみ登録可		2025年4月7日(月)～4月8日(火)17:00	
	3次登録期間中に科目登録する場合 ※夏クォーターのみ登録可		2025年4月18日(金)～4月19日(土)17:00	
秋クォーター 冬クォーター	必修履修者	法学部・教育学部英語英文学科・ スポーツ科学部・国際教養学部 (ただし国際教養学部秋学期入学生除く)	2025年9月3日(水)～9月10日(水) 17:00	
		国際教養学部秋学期入学生	※所属学部事務所からご案内	
	選択履修者	1次登録期間中に科目登録する場合		2025年9月17日(水)～9月19日(金)17:00
		2次登録期間中に科目登録する場合 ※冬クォーターのみ登録可		2025年9月25日(木)～9月26日(金)17:00
		3次登録期間中に科目登録する場合 ※冬クォーターのみ登録可		2025年10月8日(水)～10月9日(木)17:00

### LANGX Speakin(成果測定)

学期	履修者タイプ	期 間
春クォーター	春クォーターのみ履修した選択履修者	2025年5月29日(木)～6月4日(水) 15:00
夏クォーター	必修履修者・選択履修者	2025年7月10日(木)～7月16日(水) 15:00
秋クォーター	秋クォーターのみ履修した選択履修者	2025年11月13日(木)～11月19日(水) 15:00
冬クォーター	必修履修者・選択履修者	2026年1月19日(月)～1月26日(月) 15:00



## LANGX Speaking の受験が不要/できないケース

履修学期		タイミング	受験不要な方
春学期	春クォーター	事前測定	新入生LANGX Speakingの受験者
		成果測定	直後の夏クォーターを連続して履修する方
	夏クォーター	事前測定	直前の春クォーター履修者
		成果測定	なし(履修者全員必須)
秋学期	秋クォーター	事前測定	商学部・社会科学部・人間科学部 必修履修者のうち、新入生LANGX Speakingの受験対象者
		成果測定	直後の冬クォーターを連続して履修する方
	冬クォーター	事前測定	直前の秋クォーター履修者
		成果測定	なし(履修者全員必須)

## レッスンに関するよくある質問と回答(Q & A)

**Q1.** 自分の教室・ブース / レベルがわかりません。

**A** パソコンにて、Tutorial Canvas にアクセスいただき、Dash board に表示されたレベルを確認してください。また、To Do よりクラス発表のお知らせを確認してください。  
詳細は、P.12 を参照してください。

**Q2.** Tutorial Canvas を見ること、使用することができません。

**A** ご利用のブラウザが最新バージョンであるかお確かめください。Tutorial Canvas を使用する場合、各種ブラウザの最新バージョンを利用してください。

**Q3.** レベルが合わないのですが、レベルの変更はできますか。

**A** レベル変更はできません。  
難しいと感じる場合には、予習・復習を十分に行ってください。

**Q4.** テキストはどこで購入できますか。

**A** P.13 「テキスト購入」を参照してください。

**Q5.** テキスト A～D の難易度は違いますか。

**A** 難易度は同じです。

**Q6.** LANGX Speaking にログインできません。

**A** LANGX Speaking 受験対象者でない場合があります。P.33 の「LANGX Speaking の受験が不要/できないケース」一覧表をご確認ください。

- 事前測定は必修履修者と選択履修者で受験期間が異なります。P.32 の LANGX Speaking 受験期間をご確認ください。A・B もしくは C・D の 2 クォーター連続履修者の場合でも、事前測定の受験は一回のみです。
- 成果測定では A・B もしくは C・D の 2 クォーター連続履修する場合は、A もしくは C の成果測定の受験は不要です。B もしくは D の成果測定のスコアが、A もしくは C の LANGX Speaking の成績評価として扱われます。

**Q7.** LANGX Speaking 受験期間中に受験しませんでした。成績はどうなりますか。

**A** LANGX Speaking は成績評価の一部となっています。詳しくは P.22 を参照してください。未受験でも、科目履修は可能です。ただし、事前測定を受験しなかった場合は、適正なクラスで履修できない可能性があります。なお、LANGX Speaking 受験期間以外での受験は認められていません。

**Q8.** 部活動や課外活動の特別配慮について教えてください。

**A** 「忌引き（2 親等以内）」、「学校感染症」、「教育実習・介護等体験」「裁判員制度」の場合は、期日までに必要書類を提出した場合に限り、出欠席・成績評価上の特別配慮を行います。部活動や記載事項以外の活動については対象ではありません。

**Q9.** Tutorial Canvas 上の Attendance、CEFR 指標のポイントも成績に含まれますか。

**A** 各ユニットの「Attendance」のポイント（4pts～0pts）は成績評価ポイントに含まれません。テストユニット（Unit 5, 10）では、評価とは別に、「Range」「Accuracy」「Fluency」「Phonology」について、「CEFR」にあわせた現在の英語力の指標が表示されておりますが、これらのポイント（6pts～0pts）は成績評価ポイントに含まれません。また、CEFR A1(6Pts)～C2 (1pts) の表記となっておりますが、システム上の表記方法となります。成績評価方法については、履修ガイドの「成績評価」を確認してください。

上記はよくある質問を抜粋したものを記載しています。その他、<https://led.w-as.jp/faq.html> には [科目登録]、[LANGX Speaking]、[Preparation]、[レッスン・成績] に関する質問を掲載しています。併せてご確認ください。

## ◆Tutorial English ホームページ

[よくある質問]



# Tutorial English Lesson Calendar 2025



★ 履修クラス発表日  
Class announcement

Unit 1 春・秋クォーター  
Spring/Fall Quarter

Unit 1 夏・冬クォーター  
Summer/Winter Quarter

## 春クォーター・夏クォーター Spring Quarter / Summer Quarter

April						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16 ★	17	18	19
20	21 Unit 1 【春】	22	23	24 Unit 2 【春】	25	26
27	28 Unit 3 【春】	29	30			

May						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9 Unit 4 【春】	10
11	12 Unit 5 【春】	13	14	15 Unit 6 【春】	16	17
18	19 Unit 7 【春】	20	21	22 Unit 8 【春】	23	24
25	26 Unit 9 【春】	27	28	29	30 Unit 10 【春】	31

土曜集中クラス (Saturday Intensive)

Unit	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
春クォーター Spring quarter	4/26	5/10	5/17	5/24	5/31
夏クォーター Summer quarter	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12

注) 土曜集中クラスは、土曜日1、2限または3、4限に、連続2時間履修するものです。  
\* Saturday Intensive courses are offered during 1st & 2nd periods and 3rd & 4th periods.

June						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2 ★	3	4	5	6	7
8	9 Unit 1 【夏】	10	11	12 Unit 2 【夏】	13	14
15	16 Unit 3 【夏】	17	18	19 Unit 4 【夏】	20	21
22	23 Unit 5 【夏】	24	25	26 Unit 6 【夏】	27	28
29	30 Unit 7 【夏】					

July						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1 Unit 7 【夏】	2	3 Unit 8 【夏】	4	5
6	7 Unit 9 【夏】	8	9	10 Unit 10 【夏】	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



## 秋クォーター・冬クォーター Fall Quarter / Winter Quarter

October						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1 ★	2	3	4
5	6 Unit 1 【秋】	7	8	9 Unit 2 【秋】	10	11
12	13 Unit 3 【秋】	14	15	16 Unit 4 【秋】	17	18
19	20 Unit 5 【秋】	21	22	23 Unit 6 【秋】	24	25
26	27 Unit 7 【秋】	28	29	30	31	

November						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7 Unit 8 【秋】	8
9	10 Unit 9 【秋】	11	12	13 Unit 10 【秋】	14	15
16	17 ★	18	19	20	21	22
23	24 Unit 1 【冬】	25	26	27 Unit 2 【冬】	28	29
30						

土曜集中クラス (Saturday Intensive)

Unit	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
秋クォーター Fall quarter	10/11	10/18	10/25	11/8	11/15
冬クォーター Winter quarter	11/29	12/6	12/13	1/10	1/17

注) 土曜集中クラスは、土曜日1、2限または3、4限に、連続2時間履修するものです。  
\* Saturday Intensive courses are offered during 1st & 2nd periods and 3rd & 4th periods.

December						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1 Unit 3 【冬】	2	3	4 Unit 4 【冬】	5	6
7	8 Unit 5 【冬】	9	10	11 Unit 6 【冬】	12	13
14	15 Unit 7 【冬】	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2026 January						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9 Unit 8 【冬】	10
11	12 Unit 9 【冬】	13	14	15	16	17
18	19 Unit 10 【冬】	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

レベルとクォーターの組み合わせ (Level and Quarter)

	Spring	Summer	Fall	Winter
Basic				
Intermediate	A	B	C	D
Upper Intermediate				
Advanced	A	B	A	B